

お知らせ

2025年10月23日
東北電力株式会社

女川原子力発電所2号機における制御棒の不具合について

女川原子力発電所2号機（定格熱出力一定運転中）において、昨日（10月22日）、制御棒^{※1}の動作を確認する定期試験を行っていたところ、137本ある制御棒のうち1本が、全引抜位置から手動で挿入できないことを確認しました。

そのため、昨日18時56分、当該制御棒が動作不能と判断しました。

なお、当該制御棒を除く136本については問題なく動作可能であること、および、当該制御棒を含め全137本の自動挿入機能に問題がないことから、発電所の運転に影響はありません。

また、本事象による発電所周辺への放射能の影響はありません。

今後、本事象が発生した原因を調査してまいります。

本事象は、発電所の運転管理のために確認すべき事項などを定めた「原子炉施設保安規定」における運転上の制限^{※2}を逸脱するものではなく、法令に基づく国への報告が必要となる事象には該当しません。

なお、女川原子力発電所の情報公開基準^{※3}区分Ⅲ「①安全上重要な機器に不具合が発生し、機能維持に影響のないとき」に該当します。

以上

- ※1 制御棒は、炉内に出し入れすることで中性子の量を制御し、核分裂反応の度合いを調整する。これにより、原子炉の出力を調整したり、停止させる。
- ※2 原子炉施設保安規定において、発電所の安全機能を確保するため、原子炉の状態に応じ、動作可能な機器、受電できる外部電源などの必要数や、遵守すべき温度や圧力などが定めている。
- ※3 女川原子力発電所 情報公開基準（2023年4月1日運用開始）
[女川原子力発電所 情報公開基準に基づく公表事象 | 東北電力 \(tohoku-epco.co.jp\)](#)

（別紙）女川原子力発電所2号機における制御棒の不具合（概要図）